

心温まる匿名マスク

574枚、言泉学園に届く

贈り主は室蘭市内の2人

新型コロナウイルスの感染拡大でマスク不足が広がる中、社会福祉法人室蘭言泉学園（室蘭市母恋北町、菅野登一郎理事長）にマスク合わせて574枚の寄贈があった。贈り主は室蘭市内に住む男性1人、女性1人で、いずれも匿名を希望している。マスクは児童養護施設など法人内の14施設に配布する。

同法人によると、今月に入り、男性、女性それぞれ



匿名で寄贈されたマスク

から「マスクは足りていまずか」「困っている子どもたちやにマスクを配ってほしい」と相談があった。法

人でも配布していたが、限られた枚数の布製マスクを手洗いして使ったり、使い捨てマスクも在庫に不安があったという。

男性が贈ったマスクは、市内の縫製メーカー・室蘭ソーイング製の大人用455枚と子ども用69枚。段ボール箱にびっしり詰まったマスクに関係者は「こんなにたくさん」とびっくり。女性のマスクは全て手作

りした大小50枚。無地のほか、可愛いキャラクターなどがプリントされた生地を使い、子どもたちが喜びそう。いずれも22日、法人の本部事務所に届いた。23日以降、順次配ることになっている。

法人本部の担当者は「マスク不足の中、必要としていた支援でありがたい。大切に使用していきたい」と感謝した。（野村英史）